

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ劇立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成28年3月3日 NO.97 (297)

おとこびな
ぼくは男雛で
だいらさま
お内裏様と
いいます!

わたし おんなびな
私は女雛で
ひなさま
お雛様と
いいます!



花ちゃん 「♪あかりをつけましょ ぼんぼりに お花をあげましょ 桃の花
ごにんばやし 笛たいこ きょうはたのしい ひなまつり♪」

オー君 「あ! そうか。今日は3月3日のひなまつりだ。」

花ちゃん 「そうよ。女の子の節句よ。お祭りよ。」

オー君 「わーい! わーい! 今日はひなまつりだ。ひなあられに、ひしもちだ。それか
ら、ちらし寿司も食べたいな。」

花ちゃん 「あらあらこまったオー君ですね。ひな祭りというのはね、そもそも・・・。
何だったかな・・・。」

オー君 「そうだ。モンタ博士に聞いてみよう。」

モンタ博士 「今日はひな祭りだね。給食もひな祭りメニューでよかったね。あのね、

ひな祭りというのはね、今から1000
年くらい前からの行事で、そのころの
貴族という人たちが、薬草などで汚れを
祓ったというのが始まりのようだよ。」

オー君 「お雛様とかどういう関係があるの。」

モンタ博士「それが、そのうち『流し雛』といってね、
汚れや災いを雛に移して川に流して汚れ
を祓う形にと変わったのさ。江戸時代に
5つのお節句が決められ、3月3日が

『桃の節句』と定められると、みんなが
ひな祭りとして、女の子の幸せを祈る行事となったそうなんだ。」

花ちゃん 「モモの花をかざるのはどうしてですか。」

モンタ博士「モモの花は、春らしく明るいピンク色で、小さい女の子のイメージで、ひな
祭りにはぴったりだね。」

オー君 「それだけなんですか。」

モンタ博士「それに、モモの花には、美しいだけでなく、厄払いや魔除け、長寿をもた
らす力があるといわれているんだよ。モモの花の不思議な力によって人々
が救われたという多くの伝説からも、そのパワーの強さがわかるね。」

花ちゃん 「へえー。そうなんですか。」

モンタ博士「『どんぶらっこ、どんぶらっこ』という、桃太郎のお話も、モモのパワ
ーをしめしているんだろうね。」

オー君 「ひしもちはどうして食べるのですか。」

花ちゃん 「ひなあられは？白酒は？どうしてなのですか。」

モンタ博士「そうだね。この後は自分でいろいろと調べてごらん。ともかく、ひな祭りは、
生まれてきた子が、健やかで優しい女性に育つようにという、親の思いが込め
られているんだ。大きくなって幸せになってほしいということなのさ。」



モモの花 (陰暦で3月3日ころ咲く。いまでは4月上旬から中旬)